

シート状マツタケ接種源の開発(2) マツタケ感染アカマツ苗木の育成に成功

1 はじめに

不織布上に培養したマツタケ菌糸体シート（成果速報116）の、菌根形成能力の有無について試験した。

2 方法

アカマツ取り木苗の根に、予めマツタケ菌糸を培養した菌糸体シートを巻き付けた後、温室で管理した。1ヵ月後に根を掘り取り、顕微鏡観察とDNA鑑定によりマツタケ菌の感染の有無を確認した。

3 結果

接種したアカマツ苗木の根に、マツタケ菌の感染による菌根が形成された。菌糸を培養した不織布が、シート状接種源として使えることが明らかになった。

4 今後の進め方

得られたマツタケ菌根苗の植栽や、シート状接種源の林地生立木への接種により、新たなシロの形成を試みる。また、他の菌根性食用きのこへの本技術の応用試験も行う。



写真 アカマツ苗への接種

左：取り木処理で発根した根に菌糸シートを巻く
右：素焼鉢に植栽して管理する



写真 アカマツの根に形成された菌根

円内はアカマツとマツタケ間で養分や水分の受け渡しをしている「ハルディッヒ・ネット」と呼ばれる迷路状の菌糸で、外生菌根を特徴付ける。

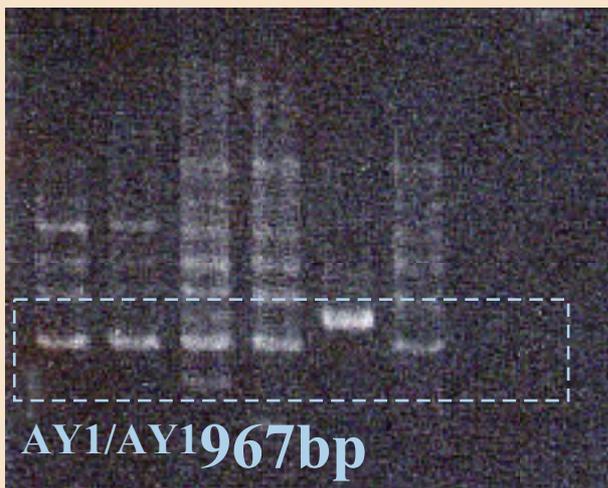


写真 DNA鑑定結果

形成された菌根由来のDNA(~)中に、マツタケに特異的なバンド(破線内)が見出された。

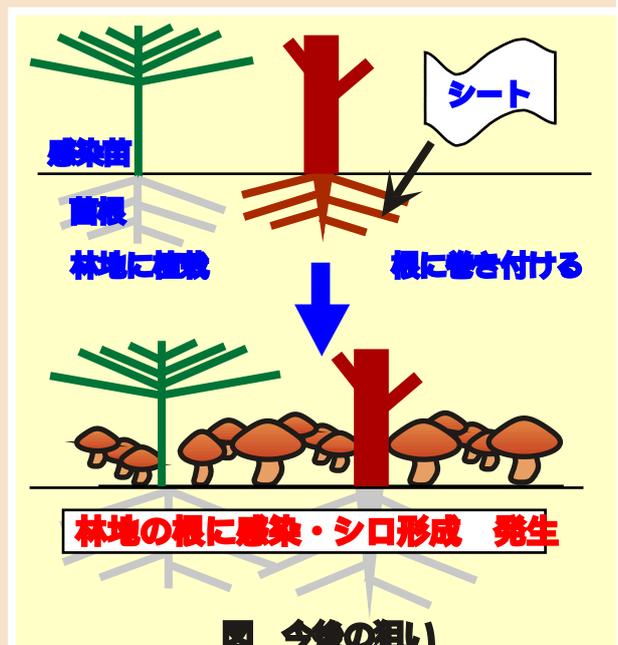


図 今後の狙い

(担当者 特用林産部 専門研究員 成松 眞樹)

連絡先	028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第3地割字清水560-11	TEL 019-697-1536
	岩手県林業技術センター	FAX 019-697-1410
	ホームページアドレス	http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/